

平成2年度三翠化学会総会報告

三翠化学会

(題字は稲川先生)

第33号
平成2年9月30日発行
三翠化学会
津市上浜町1515
三重大学農芸化学コース内
電話/津(0592)32-1211
振替/名古屋9-59345
印刷/株式会社ある
TEL(052)332-0861 大8 長谷川



平成2年度三翠化学会総会は東海支部総会と共催の形で愛知県知多郡南知多町大字内海字口揚4-6の第二魚友で開かれ、光明姫と海に面した実に風光明媚なところであった。恩師熊澤善三郎先生も元氣なお顔をみせられました。また、現教官として柏村直樹教授、小宮孝志教授にもご参加をいただきました。参加者は48名(恩師を除く)であった。

3時半から開かれた東海支部総会に引き続き開催された三翠化学会総会は、原田副会長の司会で始まり、渡辺会長のマナー化をめぐるといった内容の挨拶に引き続き、来賓として熊澤善三郎先生に近況ご報告を中心としたご挨拶をいただきました。次に、議長として今井滋氏

両総会が順調に進行し、予定の時間より30分早く終了したため、懇親会は30分繰り上げ、4時30分に開始した。司会者に杉崎護氏(大16)をお願いし、渡辺会長の挨拶のあと、当日の参加者の中で最も速く(広島県呉市在住)から来られた里村雅喜氏(専一)の乾杯の音頭で開始された。めいめいグループに

(大9)を選出し、また議事録署名人として杉崎清子(大16)をお願いし、議事の審議に入った。本紙別掲のように、平成元年度事業報告、同年度決算報告、同年度基金庶務・決算報告、平成2年度事業計画、同年度予算が承認されました。また、平成2年度評議員として若山秀人氏(大36回卒)、上田聡氏(大38回卒)が会長指名により選ばれました。



別れて賑やかな歓談がおこなわれ、途中、風呂に入って、ゆつくりとくつろいだ方もありました。今西勝氏(専一)を中心とする専一の面々のリードで三翠応援歌を合唱の後、新しく東海支部長に選出された伊佐浄氏(大3)の発声による万歳三唱で6時30分に閉会になった。同会場に泊まり込んで飲み明かすという専一の方々を残して、来年度の総会での再会を約束して散会とした。

最後に、総会を開催するに当たり大変お世話になりました東海支部の皆様方にお礼申し上げます。(古市)

平成元年度三翠化学会基金決算報告
平成2年3月31日

収入の部	
前年度よりの繰越	1,770,252円
定額貯金利息	210,564
郵便貯金利息	1,975
計	1,982,791
支出の部	
支部補助	80,000
同送送料	966
総会写真送付	31,156
新入生歓迎補助	30,000
こうより補助	30,000
卒業記念品費	69,500
計	241,622
差引残高	1,741,169
基金管理内容	
定額郵便貯金20万円×7口	1,400,000
郵便貯金	341,169

三翠化学会平成2年度予算

1) 収入の部	前年度実績	予算(円)	備考
前年度繰越	-25,998	497,085	
会費	1,344,000	850,000	1215名×70%×1000円
雑収入	5,988	5,000	
預金利子	3,216	5,000	
計	1,327,206	1,357,085	
2) 支出の部	前年度実績	予算(円)	備考
会報印刷費	381,861	500,000	会報第33号, 第34号
郵送通信費	178,375	250,000	会報第33号, 第34号など
会議費	107,794	140,000	役員・評議員会, 学内幹事会
人件費	89,000	100,000	会報発送バイト代
三翠会連絡協議会負担金	30,000	30,000	
事務費	43,091	50,000	
予備費		287,085	
計	830,121	1,357,085	
差引残高	497,085	0	

平成元年度事業報告

平成元年4月28日	第1回役員・評議員会および基金運用委員会
5月14日	平成元年度総会(三重大学生物資源学部にて)
7月21日	第2回役員・評議員会および基金運用委員会
9月30日	会報31号発行
平成2年2月2日	第3回役員・評議員会および基金運用委員会
3月31日	会報第32号発行

平成2年度事業計画

平成2年4月26日	第1回役員・評議員会および基金運用委員会
5月19日	平成2年度総会(知多郡南知多町大字内海第二魚友)
7月	第2回役員・評議員会および基金運用委員会
9月	会報第33号発行
12月	第3回役員・評議員会および基金運用委員会
平成3年2月	第4回役員・評議員会および基金運用委員会
3月	会報第34号発行

三翠化学会平成元年度決算報告書

1) 収入の部	予算	決算(円)	備考
前年度繰越	-25,998	-25,998	
会費	881,000	1,344,000	530名
雑収入	5,000	5,988	総会残金, 名簿代金
預金利子	5,000	3,216	
計	865,002	1,327,206	
2) 支出の部	予算	決算	備考
会報印刷費	380,000	381,861	会報31, 32号, 納入カード
郵送通信費	180,000	178,375	会報31, 32号, 役員・評議員会, 振替手数料
会議費	120,000	107,794	役員・評議員会, 学内幹事会
人件費	80,000	89,000	会報発送, 納入カードバイト代
三翠会連絡協議会負担金	30,000	30,000	
事務費	50,000	43,091	ゴム印, 謝金
予備費	55,002		
計	865,002	830,121	
差引残高	0	497,085	(次年度繰越)

大学院への社会人特別入学制度実施

本年4月より大学院修士課程に社会人特別入学制度が発足致しました。この4月には11名が入学し、農芸化学にも2名おられました。出願資格は

- ① 社会人で企業等に1年以上勤務した者又は次の3月31日までに1年以上の勤務が見込まれる者
- ② 学士であること
- ③ 企業等において志望専攻の専門に関する経験を原則としてもっている者、となつています。

修士論文のための実験研究テーマは職場での研究テーマでも、またそれぞれの研究室でのテーマでも結構です。職場での研究テーマですと、これまで職場で行ってきたデータや入学後職場で実験したデータを論文の中に入れることができます。また農芸化学卒業生でも企業等で農芸化学以外の分野の仕事(例えば水産学、機械学、土壌学等)に従事している人は前記の③を

適用し、他の専攻に受験できます。試験は小論文と面接で、外国語や専門はありません。修業年限は2年で1年目はほとんど夕刻からの講義で、2年目が昼間も来学し実験・研究をしていただきます。ただし一部は職場での研究でもかまいません。本号が出る頃はずいぶん回即ち3月に行われる第二次試験(願書受付は2月)にご応募下さい。いざいざしろ、学内の者と事前にコンタクトして下さい。

この制度は大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例によるもので、社会人が研究しながら修士号を取得し、産学共同の研究を推進・助長し同時に豊富な経験をもつ社会人によって大学院教育を活性化し、さらに開かれた大学にしようとする狙いがあります。

どうか皆様も一度一緒に研究いたしましょう。

「日本農芸化学会奨励賞を受賞して」

農化 20 期 西川 司 朗

受賞式の壇上で自分の名が呼ばれるのを待っている間、十数年間にわたる研究やこれまでの農薬化学研究室での生活が頭の中を気ままに通り過ぎて行った。寄稿に際しては整理が必要であった。八月も終わり近く、ようやく涼しくなりかけた頃である。

私は、永田、西田君とともに、院生 5 名が待ち構える農薬化学研究室に新専攻生として配属になった。当時、研究室ではツツジ科植物の有毒成分の構造研究が中心であり、私にはそれと関連する研究という課題が与えられた。一年間、コバノミツバツツジ葉の連続抽出物をひたすらカラムで分離し、研究室手製のロータリーエバポレータで濃縮し、トリテルペン数種を単離した。二晩、文字通りの徹夜をしたのはこのときである。大学院に入って更にこの仕事を続けたいが、期待していたようなジテルペン前駆体は見つからなかった。

そのため、途中で「大根の根に含まれる植物生長調整物質に関する研究」に変わった。タバコカルステストでの活性を指標にサイトカイニンを追求めた。期間が短かったこともあり、修了時に単離には至らなかった。修了後、助手に採用された後も単離に明け暮れた。幸い、細かな実験を得意とする河合君の協力を得て、遂に微量のゼアチンを結晶状に単離した。今でもこの瞬間を鮮明に思い出すことができる。特製の小型三角ガラスコップに入れ、少し傾けて自然蒸発させた。溶媒が飛び去った後には無色の針状結晶が数本輝

いていた。彼と堅い握手を交した。このときはほんとうに嬉しかった。

大根の研究の後、次の研究課題を探さねばならなかった。熊澤先生は何をやってもよいと言われた。大学院特論で構造・活性相関の基本的事項を熊澤先生に教わっていたことから、サイトカイニンの構造・活性相関を研究課題に選び、当面の研究計画を先生に見て頂いたところ快く認めて下さった。文献調査の結果、以前に膨大な研究が行なわれていたのを知り、落胆した。今更サイトカイニンの構造・活性相関の研究は必要でないように思われた。しかし、よく読んでみると内容的に似たものが多い。また研究にブームがあることが判った。このときから発表

された論文に何が欠けているかを読み取るようになった。また、欠けていることをもとに独自の考えをまとめていった。最初、アデニン誘導体の構造・活性相関の研究を行なった。このときに、京都大学の農薬化学研究室で 10 ヶ月の内地研修する機会を与えられ、定量的構造・活性相関の草分けである藤田先生に指導を受けた。活性を定量的に求めるために、生物検定を繰り返す日々が続いた。数年かけて集めた生理活性データの大型コンピュータによる解析は僅か数秒で終わった。その後、新サイトカイニンの探索を行なった。よく似た構造であれば同じような活性が期待できる。これだけが頼りであった。ひたすら目的とするピリド

名古屋にある愛知県食品工業技術センターに就職後、配属されたのは加工食品関係の課であった。名古屋は中小の食品製造業者の多い土地で、4、10月の間はいつも変化した食品が持ち込まれていた。当時、名古屋の量販店や問屋ではこうした変化した食品を出荷した企業に対して原因が判明するまで出荷停止という厳しい方策を採用して変敗品の流通を防止した。このため中小企業が困り、当センターに多く相談が来るようになった。ただ、相対的にみれば、当センターに比べて、調査を行なった結果、

食品の変敗微生物に魅せられて

愛知県食品工業技術センター 内藤 茂 三

4、10月に持ち込まれた変敗食品の原因のほとんどは微生物に由来するものであり、その汚染源を検討するとほとんど工場内部にあることがわかった。このためこの汚染微生物の汚染経路をつきとめると共に、汚染微生物を同定し、その防止対策としてオゾンを用いて検討を行なった。

18年間にわたり扱った変敗食品は約 2500 種類、分離微生物は 10000 菌株を超えた。これらを取りまとめると変敗の様相は、原因微生物により共通点がある。このため変敗現象によ

り原因微生物が類推できると考えられる。大学時代に扱った変敗食品から分離される場合もあり、懐かしい気がした。このような微生物の変敗現象を防止するためには、食品の製造工程並びに微生物数、菌叢に注目する必要がある。微生物は大きく分けて細菌、酵母及び糸状菌に分けられるが、すべての食品にすべての微生物が増殖するわけではなく、食品の置かれている環境条件や食品の種類、すなわち構成成分の相違により作用する微生物の種類が

最近ではオゾン層のオゾンで有名になったが、地上のオゾンでも養殖魚、植物の促成栽培と殺菌、冷蔵庫の脱臭や殺菌に用いられている。(平成 2 年度日本食品工業学会技術賞受賞)

定されるので、これらの微生物の分布を知ることは食品の貯蔵を実施する上には不可欠のものである。

食品原材料、食品、空気、水等の微生物分布を知った上で殺菌処理することは極めて効果的である。12、13年前にアメリカより輸入した空気清浄機の効力試験を行なった所、細菌、酵母及び糸状菌に対して殺菌作用が認められ、この原因を検討してみたらオゾンにより上記現象が見られたことが判った。それ以来、オゾンとの長い付き合いが始まった。

最近ではオゾン層のオゾンで有名になったが、地上のオゾンでも養殖魚、植物の促成栽培と殺菌、冷蔵庫の脱臭や殺菌に用いられている。(平成 2 年度日本食品工業学会技術賞受賞)

は、既にその後の計画は決まっていたので、研究は急速に進んだ。アルキニルプリンの化学変換により強力な活性誘導体を得ることができた。近藤、山下、水谷君は私が望む多くの新しい化合物を次から次へと合成してくれ、これらの化合物を用いて 6-炭素置換プリンの構造・活性相関をまとめることができた。

研究計画の最後に新サイトカイニンを分子設計、開発することにしていった。基本となる化合物については数年前に弱い活性をもつことを見つけており、また合成法も心得ていたので開発に大して時間はかからなかった。日中でも合成、生物検定と暗幕中で行なう、もぐら実験が続いたが、最終的にこれまでに合成したなかでは最も強い活性をもつピリジン誘導体が見つかることができた。

アデニン誘導体の構造・活性相関から始めて、紆余曲折、悪戦苦闘しながらも、十数年の後は新サイトカイニンの開発につながることができた。たまにまどろみかけた幸運な場所だっただけで、研究の途中で定まらぬので、これらの微生物の分布を知ることは食品の貯蔵を実施する上には不可欠のものである。

私は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

た。どこへ進んで行くのかも、自分の行なっていることがどんな価値をもっているのかも見失いがちであった。こんなときに研究を支えてくれたのは自分の夢であった。今また次の新しい夢を描きつつある。再び十数年歩き続けてみようと思う。今回の受賞は、恩師である熊澤先生を初めとする多くの先生

族づれの場合は大変助かりました。州境を越えすと数キロ以内にはインホームションがあり、その州の地図、モーターの割引

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

アメリカ留学の思い出

院八回修了 久松 真

私は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

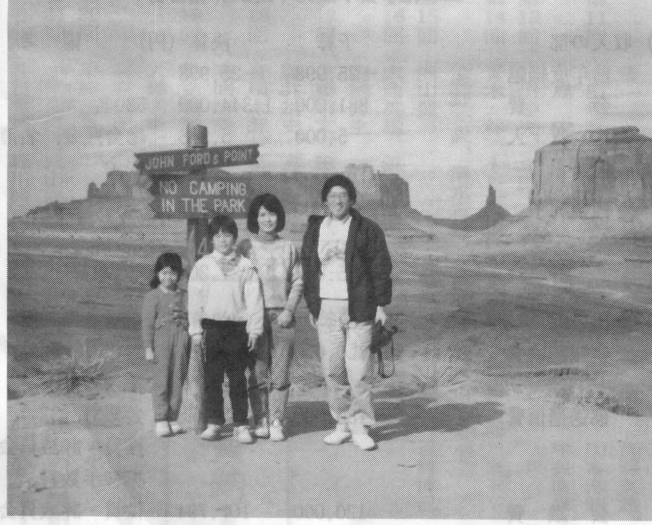
は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

農産製造科 2 回生卒業 40 周年 祝賀祈念大会開催予告

私どもの専門二回生は、卒業後四十年を経過し、大半の者が還暦を迎え、第二の人生をどう生きるかという折り返し点に立っています。この時に当たり、四名の物故者の冥福を祈り、これからの人生に向けて善星を招くべく皇太神宮に祈願をしたいと思います。次により祈念大会を企画しましたので、取り敢えず紙面をかりて予告しておきます。

日時 十二月一日、二日
場所 鳥羽市宿泊、二日以内宮にて神奉納
会費 二万円内外
(筆責・佐々木)



話が変わりますが、アメリカで日本に関するテレビ放送を見て気がついたことを少し話したいと思えます。CNNが毎週土曜日夜九時半より三十分間日本の一週間と題して、ダイジェストをおり混ぜて日本を紹介しています。農家の大家族の様子、朝のプラットホームの混雑した様子、サラリーマンの背広姿、ベンツが渋滞に巻き込まれてノロノロと走っている様子などが放映されるのを見て、もつと良いところが沢山あるのと言いたくなるのです。しかし、これがニュースなのだと思えば、これに逆らったアメリカ人の生活様式と違った事柄、アメリカ人の心と関係する事柄(見聞とか感情)がニュースとして価値があるのです。現在は情報化社会と言われているが、製作者の色の付いた情報しか得られないのです。行って見てくる事は、今なお重要で

は、昨年三月から一年間ジョージア州のジョージア大学複合糖質研究所に留学しました。所長のアルバーシャム教授は、オリゴ糖が生理活性物質の役割(植物ホルモンとも言える)を示すことを最初に報告した人物で、世界的に注目されている研究者です。小生も多糖をオリゴ糖を研究している関係で、彼の最先端の研究所で仕事をしたい願望もあって申し込みました。植物の細胞壁多糖は、近ごろ健康食品として少々ブームになっていますが、その一つであるキシログルカンの微細構造の研究をし、いくつかの新し

随想ザ・定年



卒業した昭和二十五年三月、採用試験に合格していた国家公務員の任用通知がこず困っていたところへ、三重県種畜場長さんから、「農林省農業技術研究所での畜産製造の研修を条件に、畜産加工担当職員として採用したい」との話を頂き、同年四月千葉市にある同研究所に赴いた。

農林省研究所としての北海道での研修であった。この四か月の研修期間に、日本の乳牛界の権威者である町村敬貴先生の警咳に接し、乳牛飼養管理技術をマスターさせて頂き、同時に日本のホルスタイン

から一万四千頭にも急増したため、酪農関係の私の仕事は全く繁忙を極めた。しかし、先進国では酪農の指導者の多くは化学者で占められていたが、日本の国や県の職員は殆どは獣医師で、私などは

員として、畜産を専門項目の一つ、個々の農家の生産合理化への誘導と、地域農業の振興活動等に従っていたが、この間に一つ書き残しておきたいことがあった。

ホルスタインとの係りと化学の強み

専2 佐々木敏雄

研究所では、乳肉加工の実務も楽しく、ハイレベルの勉学に満ち足りていたため、その間に名古屋税関等の国家公務員としての任用通知をすべて放棄して悔はなかった。

同年八月帰国して種畜場に勤めたが、畜産加工の研究に専念できる状況にはなく、乳牛の飼養管理に多くの時間従事せざるを得なかった。

しかし、その時から私とホルスタインとの深い係りが始まり、それを一層強固にしたのがこの系統を熟知することができた。

同三十年、種畜場から三重県畜産課に転じ、同四十五年まで、県の酪農振興に係る行政事務と乳牛飼養管理技術の普及に従事した。

この間、日本の経済成長に伴い、県内の乳牛頭数は四千頭から一ヶ月半増して再会しようということになった。六甲山山頂は相変わらず寒く、積雪もあり、観光を楽しむ状況ではないので、朝食後、記念撮影をして解散することになった。

時折平成2年7月20日(土)、前回の幹事の申し送りどおり、我が20回生は紀伊長島の海野で再会を果たした。今回の宿泊予約に当たっては大先輩の東田さん(専門1回)に宿泊場所の予約からパンフレットの発送、釣り舟の手配まで大変お世話になりました。三翠の皆様は披露いたします。

4月28・29日の両日、榎原温泉にて大学37期同窓会を行なった。幹事の突然の思い付きにより企画されたにもかかわらず、

厚生の調査によると平成元年度の日本人の平均寿命は、男性七十五・九一年、女性八十一・七七年で今や世界第一の長寿国となった。われわれが入学した当時の平均寿命は、男性五十一・一年、女性五十四・〇年であるから、この四十年間で男女ともに二十五年以上寿命が伸びている。また、われわれ六十歳男性の平均余命は二十二年、つまり八十歳まで生存可能であり、この平均余命は今後とも伸びていくことが見込まれるという。

最近では、好景気を反映して人手不足による企業倒産が続出している。また、結婚女性の出生率は一・五七と今や大きな社会問題になっている等、将来の労働力不足は深刻である。

「人生八十年」時代の唯一、六十歳、部品の一部にガタがきたといえ、まだまだ元気はたっぷり粗大ゴミだの、濡れ落葉だのと云われるには、まだ早い。若い者には負けられない。

大学37期同窓会



石川・井上・伊場田・井村・浦田・大河内・小村・久世・小嶋・近藤・今野・柴田・嶋貴・清水・杉本・寺西・西村・森

「昔と違って六十歳になって皆、元気だし早く引退しろと云われて困るナ……」と云うのが定年退職者の実感ではないでしょうか。

ところで、今回、若林君からバトンをわたされたが正直云って大いに迷惑している。というのは、私は現在、全国農業協同組合中央会に籍を置き、農業者の年金の相談指導にあたりつつある。この職種は、六十五歳まで勤務が可能であり、あと五年間は第一線で活躍できる。いわば定年前の現役バリバリであるからと生意気なことを云っても、

次次第である。今にして思えば若気のいたりというか、身の程しらずというか、農産製造とはおよそ無関係な未知の世界へ、よくぞ飛び込んだと思う。しかし、石の上にも三年、役所の空気に馴れ、あとは本人の忍耐と努力のみである。いろいろなセクションを渡り歩いたが、先輩・同僚のご指導・ご協力により、それぞれの職責を大果なく全うし、昭和六十一年に東海

雪景色の六甲山と夏の紀伊長島に集う

20回生クラス会



熊澤先生が平成2年3月をもってめでたく定年退職される直前に20回生のクラス会を開催した。この趣旨に応じて麻原、藪内両君も久し振りに参加した。第1回目のクラス会は平成2年

1月20日(土)、雪の降る六甲山山頂にある東洋紡の保養所に16名の同窓生が坂道の雪に足を取られながら、また道に迷いながら集まった。宿に到着して最初の挨拶は「寒い日になったな」か

ら始まった。しかし、湯につかるとガラ越しにみる雪の庭園の風情は雪道を苦労して歩いた事を忘れさせるほど素晴らしい一言に尽きる。宴会は熊澤先生のご挨拶から始まり、御馳走と

アルコールドリンクと参加者全員の近況報告で大きいにもあがった。この後の二次会ではウイスキーを飲みながら重要な決定がされた。その内容は翌日の朝食時に幹事より次回のクラス会は今夏に紀伊長島で実行する予定でという発表であった。

一同半信半疑であったが、ともかく半年後に再会しようということになった。六甲山山頂は相変わらず寒く、積雪もあり、観光を楽しむ状況ではないので、朝食後、記念撮影をして解散することになった。

前夜の飲み過ぎと睡眠不足にも拘わらず早朝、船釣りに出かけたグループが11時ころには大漁の釣果をもって帰って来た。海水浴を楽しんだグループと昼食を取りながら次回の幹事に水田君と平田君をとりあえず決めた。この後松阪駅にて解散した。

「昔と違って六十歳になって皆、元気だし早く引退しろと云われて困るナ……」と云うのが定年退職者の実感ではないでしょうか。

ところで、今回、若林君からバトンをわたされたが正直云って大いに迷惑している。というのは、私は現在、全国農業協同組合中央会に籍を置き、農業者の年金の相談指導にあたりつつある。この職種は、六十五歳まで勤務が可能であり、あと五年間は第一線で活躍できる。いわば定年前の現役バリバリであるからと生意気なことを云っても、

次次第である。今にして思えば若気のいたりというか、身の程しらずというか、農産製造とはおよそ無関係な未知の世界へ、よくぞ飛び込んだと思う。しかし、石の上にも三年、役所の空気に馴れ、あとは本人の忍耐と努力のみである。いろいろなセクションを渡り歩いたが、先輩・同僚のご指導・ご協力により、それぞれの職責を大果なく全うし、昭和六十一年に東海

若い滝先生を囲んで 農芸化学の新歓コンパ

新歓コンパとは、大学に入学したばかりの新生の歓迎会を略称であるが、生物資源学部では2年になってから各コースに分属されるので、農芸化学コースに参入するには1年間の待ち時間がある。したがって、1年間の「古さ」はあるが、仲間入りした40人は我々から見ると、やはり初々しい若者達であり、その半数を占める女子学生も華やいだ雰囲気を出している。このような農芸化学のヒヨ

コ達の自己紹介の一言一言に耳を傾けて、年令の差を少し感じた次第である。今年4月25日の午後から、例年のように三翠庭園を舞台として、ツツジに囲まれ、春の陽光を浴びながら歓談した。渡辺会長は急用ができて欠席されたので、代りに原田副会長が急遽挨拶されたが、さすが高等学校の校長を歴任した人だけに、若者達の心をうまくつかんだ内容だった。

花と緑と若い人々の中にあつて、とりわけ印象的であったのは、長時間にわたってこのやかに歓談されていた滝先生にあって、先生は80才になられた今でも、研究のため足繁く大学に通っておられるが、お話を伺っていると精神年齢は全く昔と変わらず、好気心の塊りといった感じであり、ますますの御健勝を心からお祈りする次第である。

末筆ながら、この会を催すにあたり、三翠化学基金からの補助金と、会長からの御寄付を頂いたことに対して感謝いたします。(農芸化学コース主任)

『人生八十年』 定年を見直すとき 働き盛り――

専1 長瀬和雄

私にとってこれは第三番目の職場である。第一番目の職場は農林水産省である。私が卒業した昭和二十四年は、非常な就職難で各職場では人員の整理こそあれ、新規採用は見合わせるといふ時代であった。私も当初は折角、修得した農産製造学をかすべく食品産業界への就職を望んでいたがままならず、農林省の採用通知を手に上京し

農政局農政部長を最後に五十六歳(定年は六十歳)であるが、管理職はその数年前に辞める慣習ありで退職したが、三十七年間にわたる役人生活で得た学識・経験は、あらゆる意味で非常に大きな財産になったと感謝している。とくに役人には転勤がつきもの。馴れない土地へ家族を連れての移動あるいは単身赴任は苛酷である。私は四回転勤を経験しているが、任地では、

「人生八十年」時代の唯一、六十歳、部品の一部にガタがきたといえ、まだまだ元気はたっぷり粗大ゴミだの、濡れ落葉だのと云われるには、まだ早い。若い者には負けられない。

(バトンは岩田章さんへ)

○梅川逸人先生(農芸化学講
座)は本年九月から一年間の予定で、米
国ミネソタ州州立大学医学部
生化学教室 Mark O. J. Olson
教授のもとで「RNA結合タン
パク質に関する研究」のため留
学されます。同先生のご活躍・
ご発展ならびにご健康を祈りあ
げます。

○生物資源学部新校舎建設の
第一期工事が昨年の四月に着工
され、この九月末竣工を目指し
て今や追い込みに入っています。
外装工事は殆ど完了し、目
下内装工事が急ピッチで進めら
れております。この十月には水
産学コース、農業土木学コース、
生物生産機械学コース関連の各
研究室と森林資源学コースに属
する一部の研究室が移転するこ
ととなり、文字通り農水
一体化が実現することとなりま
す。勿論、後期からの講義等は
新校舎と現在の農学校舎で実施
する予定です。新校舎の構造は、
鉄骨・鉄筋コンクリート造、七
階建て延面積は二二、三〇〇平
方米でその偉容は断然他の校舎
を圧倒しています。位置は生物
資源学部農学校舎(旧農学部三
号館)の東側です。

○生物資源学部新校舎建設の
第一期工事が昨年の四月に着工
され、この九月末竣工を目指し
て今や追い込みに入っています。
外装工事は殆ど完了し、目
下内装工事が急ピッチで進めら
れております。この十月には水
産学コース、農業土木学コース、
生物生産機械学コース関連の各
研究室と森林資源学コースに属
する一部の研究室が移転するこ
ととなり、文字通り農水
一体化が実現することとなりま
す。勿論、後期からの講義等は
新校舎と現在の農学校舎で実施
する予定です。新校舎の構造は、
鉄骨・鉄筋コンクリート造、七
階建て延面積は二二、三〇〇平
方米でその偉容は断然他の校舎
を圧倒しています。位置は生物
資源学部農学校舎(旧農学部三
号館)の東側です。

○生物資源学部新校舎建設の
第一期工事が昨年の四月に着工
され、この九月末竣工を目指し
て今や追い込みに入っています。
外装工事は殆ど完了し、目
下内装工事が急ピッチで進めら
れております。この十月には水
産学コース、農業土木学コース、
生物生産機械学コース関連の各
研究室と森林資源学コースに属
する一部の研究室が移転するこ
ととなり、文字通り農水
一体化が実現することとなりま
す。勿論、後期からの講義等は
新校舎と現在の農学校舎で実施
する予定です。新校舎の構造は、
鉄骨・鉄筋コンクリート造、七
階建て延面積は二二、三〇〇平
方米でその偉容は断然他の校舎
を圧倒しています。位置は生物
資源学部農学校舎(旧農学部三
号館)の東側です。

○生物資源学部新校舎建設の
第一期工事が昨年の四月に着工
され、この九月末竣工を目指し
て今や追い込みに入っています。
外装工事は殆ど完了し、目
下内装工事が急ピッチで進めら
れております。この十月には水
産学コース、農業土木学コース、
生物生産機械学コース関連の各
研究室と森林資源学コースに属
する一部の研究室が移転するこ
ととなり、文字通り農水
一体化が実現することとなりま
す。勿論、後期からの講義等は
新校舎と現在の農学校舎で実施
する予定です。新校舎の構造は、
鉄骨・鉄筋コンクリート造、七
階建て延面積は二二、三〇〇平
方米でその偉容は断然他の校舎
を圧倒しています。位置は生物
資源学部農学校舎(旧農学部三
号館)の東側です。

「続」大学近況 アラカルト

化学第三十二号でお知らせしま
した。

○このうち、遺伝子実験施設は、
動物遺伝子、植物遺伝子ならび
に微生物遺伝子の三研究部門か
ら成り、専任教員および学内外
の研究者が利用することとな
っております。また、教員面では、
関係学部の学生、大学院生、研
究生、外国人留学生等の希望者
に対して講義と実験・実習を行
うこととしております。

○医療技術短期大学部(看護
学科)が昭和六十三年十月に設
置され、第一期生は二年生とな
りました。看護に関する高度の
知識と優れた技術の教育・研究
を目的とするもので、就業年限
は三年です。

○教育工学部が平成元年四月に
設置されました。学校教育、障
害児教育、教科教育の三専攻構
成です。

○昨年の十一月に三重大学国
際交流事業後援会が結成発足
し、三重県内外の諸企業を始め
卒業生ならびに学内教職員等に
お願いし、広く募金活動がはじ
められました。募金目標額は
二億円でありますが、六月末現在
募金額は一五、四二五、一
〇〇円であり、目標額に程遠い
のが実情であります。期限内に
目標額を達成すべく努力を積み
重ねて参りますが、同窓生各位
には今一度改めて募金のご協力
をお願いいたしますようお願い申
あげます。

○この四月に情報教育課
成です。

○このうち、遺伝子実験施設は、
動物遺伝子、植物遺伝子ならび
に微生物遺伝子の三研究部門か
ら成り、専任教員および学内外
の研究者が利用することとな
っております。また、教員面では、
関係学部の学生、大学院生、研
究生、外国人留学生等の希望者
に対して講義と実験・実習を行
うこととしております。

○このうち、遺伝子実験施設は、
動物遺伝子、植物遺伝子ならび
に微生物遺伝子の三研究部門か
ら成り、専任教員および学内外
の研究者が利用することとな
っております。また、教員面では、
関係学部の学生、大学院生、研
究生、外国人留学生等の希望者
に対して講義と実験・実習を行
うこととしております。

○このうち、遺伝子実験施設は、
動物遺伝子、植物遺伝子ならび
に微生物遺伝子の三研究部門か
ら成り、専任教員および学内外
の研究者が利用することとな
っております。また、教員面では、
関係学部の学生、大学院生、研
究生、外国人留学生等の希望者
に対して講義と実験・実習を行
うこととしております。

○このうち、遺伝子実験施設は、
動物遺伝子、植物遺伝子ならび
に微生物遺伝子の三研究部門か
ら成り、専任教員および学内外
の研究者が利用することとな
っております。また、教員面では、
関係学部の学生、大学院生、研
究生、外国人留学生等の希望者
に対して講義と実験・実習を行
うこととしております。

熊澤善二郎先生定年退官



生物機能利用学講座生理活性
化学研究分野の熊澤善二郎先生
は、昨年七月三日に満六十三才
を迎えられましたので、本年三
月三十一日をもって定年退官さ
れることになりました。そこで、
去る二月十日に生物資源学部農
学校舎大講義室において、教員
卒業生、在学生を含め約二百名
が参加し、定年退官講義が行な
われました。

先生は京都大学農学部農林化
学科を御卒業になられて今日に
至るまで、植物成分の構造決定
BHCやDDTなどの合成農薬
の有機化学的研究、糖質誘導体
や植物ホルモンの構造・活性相
関の研究を進めて来られました。
熊澤先生定年退官記念事業会

近頃の話

定年講義には、本学で講義す
るのは初めてであると前置きさ
れた後、先生が最も心血を注
がれた、はなりのきの有毒成
分「グラヤノトキシン」の構造
に関する研究についてお話しさ
れました。天然物の複雑な未知
の絶対構造を、現在のような高
度な分析機器がなかった当時手
製の赤外分光器を用いて解き明
かして行く道筋を、黒板をたく
さんの構造式で埋めながら丁寧
に説明されました。先生が最初
に「グラヤノトキシンの基本構造
を決定されたから今日までに、
実に多くの類似体が見いだされ
ていることに先生自身感慨深げ
でした。スライド終了後、自然
科学を志す後輩に「たとえ五里
霧の中であつても必ず答えは
存在するのだから、決して焦ら
ず、目を凝らして進んで行けば
真実に出会える」との貴重な助
言を下さり、約二時間の最
終講義を終えられました。(熊
澤先生定年退官記念事業会)

知人、友人の現住所を 御存知の方、 事務局まで連絡を

三翠化学会の情報を出来るだ
け会員全員にお知らせいたし度
く、名簿の充実をはかりたいと
思います。つきましては、年賀
状等で現住所御存知の方には事
務局まで御連絡下さいませよう
お願い申し上げます。

- #### 農芸科学科
- 第1回 林(鈴木) 敏
 - 第2回 平尾英馬、前田 尚
 - 第3回 竹内内伍

- #### 農産製造学科
- 第1回 陶山祝生、田中昭一、
高岡(田中)正美、中
島和夫
 - 第2回 上井順三
 - 第3回 佐々木文雄、高野嘉郎
 - 第4回 小磯元男、佐野 敦
 - 第5回 白田順史

- 第6回 大杉琢治
- 第7回 笠井泰行
- 第8回 西条丁康
- 第9回 荒木 宏、岩尾敏之、
勝 尚規、小島展紀、
後久 勉、榊原(松田)
孝男、田中良明、寺部
真行、村瀬謙造、横関
 優
- 第10回 梅田和彦、菊山幹夫、
中島 宏
- 第11回 北川睦夫、北野 敏
- 第12回 青木(林) トシ、松林
(奥野) 武、清水直雄
- 第13回 大山雄一、清藤博己
- 第14回 内山捷一
- 第15回 大西英雄、浜島正博
- 第16回 山城秀生
- 第17回 伊藤昭文、田中継行、
藤井靖史、宮崎芳博
- 第18回 高岡哲夫、新 邦彦
- 第19回 足立瑞樹、内田博規
- 第20回 大館明敏、高村育男
- 第21回 宮原一明、矢野章二
- 第22回 小田正巳、栗山洋一、
仲村常雄、森川照司

- #### 和仁外雄
- 第22回 浅野真逸、高見賢一、
水谷孝至
 - 第23回 河合恒明、木村茂樹、
栗本正弘、中神吾吾
 - 第24回 加藤(西田)伊陽子、
小林文彦、田中大二
 - 第25回 近藤久二天
 - 第26回 乾 俊司、加藤久雄、
別所 明、山本浩昭
 - 第27回 上野裕史、中矢直孝
 - 第28回 土田新一郎
 - 第29回 坂倉正司
 - 第30回 有田隆之、近藤博己
 - 第31回 新美圭五
 - 第32回 森 直人
 - 第34回

会費納入のお願い

平成2年度三翠化学会年費
の納入をお願い致します。
会員の皆様には現在の会費納
入状況のカードを同封致します
(計幹事)

大卒女性に望むこと

井村屋製菓株式会社 長谷川 宏
(大学十回卒)

近年、女性の社会への進出は
目覚ましいものがあり、大衆望
ましい事であると思う。男女雇
用均等法により法的に男女の差
は無くなった。しかし、「女性」
は女性なのであって、決して男
性ではなく、ましてや、中性で
もなく無性でもない。このこと
を錯覚してはならない。
「女は教育など必要ない。」

勤務した後夜間(十七時三分
始業)で、また土曜日には終日
授業を受けることとしておりま
す。後半の一年間は通常の授業
時間帯で特別研究等を修得して
修士論文を作成することとして
おります。なお、研究上必要な
場合には、勤務先等の施設や設
備を利用することができるよう
にしております。

大学に就いた後夜間(十七時三分
始業)で、また土曜日には終日
授業を受けることとしておりま
す。後半の一年間は通常の授業
時間帯で特別研究等を修得して
修士論文を作成することとして
おります。なお、研究上必要な
場合には、勤務先等の施設や設
備を利用することができるよう
にしております。

大学に就いた後夜間(十七時三分
始業)で、また土曜日には終日
授業を受けることとしておりま
す。後半の一年間は通常の授業
時間帯で特別研究等を修得して
修士論文を作成することとして
おります。なお、研究上必要な
場合には、勤務先等の施設や設
備を利用することができるよう
にしております。

大学に就いた後夜間(十七時三分
始業)で、また土曜日には終日
授業を受けることとしておりま
す。後半の一年間は通常の授業
時間帯で特別研究等を修得して
修士論文を作成することとして
おります。なお、研究上必要な
場合には、勤務先等の施設や設
備を利用することができるよう
にしております。